

『VE／VD論文』 隨時受付のご案内

※VD : Value Design

弊会ではバリュー・カンファレンス（VE全国大会）向けに毎年「VE／VD論文」を募集し審査を行っておりますが、それとは別に、隨時で「VE／VD論文」の提出を受け付け、査読をいたします。査読で採択となった「VE／VD論文」は、原則として弊会が発行する「バリュー・エンジニアリング」誌（電子版）に掲載することで「発表」とさせていただきます。

バリュー・エンジニアをはじめ、企業や公共機関の方々、研究者、コンサルタント、学生など、多くの方々からの論文ご提出をお待ちしております。

お問い合わせ／お申し込みは

公益社団法人日本バリュー・エンジニアリング協会

〒154-0012

東京都世田谷区駒沢 1-4-15 (真井ビル 6F)

TEL. 03-5430-4488 / FAX. 03-5430-4431

URL : <http://www.sjve.org> / E-mail : conf-paper@sjve.org

～『VE／VD論文』ご執筆にあたって～

1. 論文テーマの一例

- * ○○分野へのVE／VD適用事例の効果及び今後の可能性
- * ○○業におけるVE／VD適用事例にもとづく○○に関する考察
- * ○○製品の開発VE／VDに応用した○○手法の効果に関する考察
- * 効率的にVE／VDへの理解を深めるための研修プログラムの開発
- * VE／VDと○○手法の融合活用に関する試行と考察
- * VE／VD実践における○○の課題に対する効果的な解決策
- * VE／VDと○○に関する実態調査に基づく考察
- * VE／VD成果拡大のための推進体制構築
- * 公共分野における価値向上の事例と波及効果 など

2. 査読申し込み方法

(1) 申込の方法 次の5つを本会事務局に E-mail 又は FAX でお知らせください。

- ①論文テーマ ②論文要旨（150字～200字） ③執筆者氏名（個人名のこと）
④連絡先（会社名、所属・役職名、所在地、電話番号、E-mail アドレス）
⑤論文原稿 提出予定日

※論文要旨について予備審査を行います。

予備審査を通過した方には、折り返し原稿執筆ガイド等をお届けいたします。

(2) 原稿の作成

- ①A4判の白紙を使い、MS-WORDで作成してください。
- ②A4判1頁につき横40字、縦40行で、10頁以上14頁以内（図表を含む）といたします。
- ③図表は鮮明なものを見やすい大きさで本文中に挿入してください。
- ④MS-WORD及びPDFの2つのファイルをご提出ください。

3. 査 読

- (1) 査読は、「論文審査部会」より2名の査読委員を選出して行います。
- (2) 査読では、次頁の評価項目に従い、査読します。
- (3) 論文原稿提出後、2か月以内に査読結果をお送りします。
- (4) 内容のさらなる充実を目的に、原稿の一部修正を求めることがあります。その場合は、修正の要請を尊重し、修正していただきます。
- (5) 修正の要請通りに修正いただいたないと判断した場合は、不採択となります。

※修正の要請は、原則3回までを想定しています。

4. 発 表

採択となった場合は、電子版技術情報誌「バリュー・エンジニアリング」に掲載いたします。
なお、掲載にあたっては掲載料として22,000円（消費税込み）を請求させていただきます。

5. その他

- (1) 採択論文は、選考のうえVE全国大会発表論文としてVE全国大会実行委員会へ推薦されることがあります（発表に際しての諸費用は自己負担となります）。
- (2) 採択論文は、選考のうえSAVE国際大会発表論文としてSAVE International（米国VE協会）に推薦されることがあります（発表に際しての諸費用は自己負担となります）。
- (3) 学術論文としての発展が期待できると審査委員会からコメントを受けた論文は、日本システムデザイン学会への（洗練化後の）論文投稿を推薦致します。（ただしAcceptを保証するものではありません。）

●VE／VD論文入選者（第一執筆者に限る）への優遇措置

1. 2026年度CVS認定試験において、論述2を免除し30点を加算します。

※事例または研究ノートとして採択となった場合は、2026年度CVS認定試験において、

論述2に対して最大15点分加算します。^(注)

注) *論文2の出来栄えが0～15点未満の場合は、15点加算されます。

*論述2の出来栄えが15点以上の場合は、最大30点になるように加点されます。

2. VEスペシャリスト認定試験において、論述2を免除し20点を加算します。

・2026年度から2030年度の試験まで優遇措置は継続されます。

(論文入選年度含み5年間有効、試験不合格の場合も同様)

●VE実践論文 第一執筆者へのサポートについて

過去にVE実践論文（またはVE研究論文）を第一執筆者として入選以上の経験がある方（論文審査委員も含めて）が、積極的に共同執筆者になることを通じて、投稿論文の質を上げて頂けることを推奨します。共同執筆者として入選した場合、CVS資格、VEスペシャリスト資格の更新の際に必要なポイントの一部として加算できるようにしていく予定です。

●VE／VD論文の評価項目

1. 新規性：VE／VDの領域からみて

- ・問題設定、適応領域の新しさがあるか。
- ・発見、知見、事例の新しさがあるか。
- ・理論、実験方法、手法、調査法の新しさがあるか。
- ・要素、システム、用途、サービスの新しさがあるか。
- ・評価法、調査結果、デザインの新しさがあるか。

VE/VDの新規性の視点例

- *機能分析に関する新手法の開発・提案など
- *機能本位に基づくアイデア発想手法の開発・提案など
- *代替案(設計案)の価値設計・保証に関する手法の開発・提案など
- *VE教育やVE管理に関する手法の開発・提案など

2. 有用性：VE／VDの領域からみて

- ・学術、技術、社会的課題に応えているか。
- ・実用化、改良、改善上の成果があるか。
- ・技術移転、波及効果、啓発効果があるか。
- ・理論や方法の拡張、体系化、視点の転換の成果があるか。
- ・利用効果、導入過程、実態調査に有用であるか。

VE/VDの有用性の視点例

- *機能分析に関する手法の工夫など
- *機能本位の創造思考(アイデア発想)法に関する工夫など
- *代替案(設計案)に価値保証に関する工夫など
- *VE教育やVE管理上の工夫など

3. 適性：以下の要件を満たし、論文として完結していること

- ・内容に誤りやあいまい性がない。
- ・研究目的が明確に述べられている。
- ・論旨の展開が明確である。
- ・研究成果の意義が明確に述べられている。
- ・従来研究との関連が明確に述べられている。
- ・関連する文献が適切に引用されている。
- ・図表、文体が簡潔かつわかりやすい。
- ・実験条件、方法が明確に述べられている。
- ・VE(価値工学)領域との関連が深く重要度が高い。
- ・将来性の期待される研究である。

主に上記評価項目により総合的に審査の上、入選の可否を厳正に判断いたします。

以上